

リリオ亀有リノベーションプロジェクトについて

1 経緯

リリオ亀有リリオ館（以下「リリオ館」という。）の開設から 20 年を節目として、都市再生機構（以下「UR」という。）及びリリオ館を管理する(株)新都市ライフホールディングス（以下「新都市ライフ」という。）がリリオ館及び周辺地域の賑わいの創出及び地域の活性化を目的として、リリオ亀有リノベーションプロジェクト（以下「リリオプロジェクト」という。）を立ち上げた。

区としては、亀有地区のまちづくりを進める上で、リリオ館に新たな魅力を付加することは一定の効果があると考え、区もリリオプロジェクトに参画し、集客力が見込め、ビル内の他のフロアへのシャワー効果等が期待できる公民の連携による新たな事業展開について検討するとともに、従来からの行政課題への対応について、UR 及び新都市ライフと協議を重ねてきたところである。このたび、リリオプロジェクトによる事業内容がまとまったため、報告するものである。

2 リリオプロジェクトの範囲

リリオ館 7 階のイトーヨーカドー社員食堂スペースの賃貸終了に伴い、このスペースに現行飲食店のスペース及びエスカレーターホールなどを加えた約 1,620 m²をプロジェクトの範囲としてリノベーションを行うものである。

3 リリオ亀有リノベーションプロジェクトの推進に関する基本協定書

締結年月日 平成 29 年 5 月 26 日

協定書（写） 資料 1 のとおり

4 リリオプロジェクトによる事業の概要

リリオプロジェクトのコンセプトをふまえ、UR 及び新都市ライフが事業者に対するヒアリングを実施した結果、「カフェ・飲食店」を中核事業として経営しつつ、絵本を活用した公民連携による「絵本劇場」を運営する提案が出された。提案内容が子育て支援に資するものであり、リリオ館に対する新たな魅力の付加が期待できることから、「絵本劇場」に対して区が一定の支援を行う。

あわせて、従来からの行政課題である亀有地区センター会議室の増設及び図書サービスカウンターの設置を行うとともに、区内の観光情報の発信などにより、人が集まる空間を形成する。

リノベーション実施後のリリオ館7階配置案 資料2のとおり

5 展開される事業内容

(1) まちの台所

誰もが楽しめるファミリー向けのメニュー等を提供する飲食店を設置する。子育て世代向けの食育プログラムの開催等も予定している。

(2) 絵本劇場

絵本を中心に図鑑や写真集等、視覚で伝わる書籍等を展示するライブラリースペースを設けるほか、子どもの好奇心や想像力を刺激する多彩な読書スペースの整備、音楽や映像を活用した演出型の読み聞かせの実施、絵本の世界観を体得できるような工作教室等を実施する。

(3) 亀有地区センター会議室

地域の方に利用いただける広さ約115㎡の会議室を増設する。

(4) 図書サービスカウンター

予約資料の貸出、返却ができる窓口を設置するとともに、区立図書館の資料検索や資料の予約ができる資料検索機を設置した図書サービスカウンターを開設する。

(5) まちの広場

賑わいの創出をめざし、区内外から人が集まる空間を形成する。葛飾区内の観光情報の発信や様々なイベントを実施する仕組みを検討する。

6 今後のスケジュール（予定）

- (1) 平成29年7月 実施協定の締結
(基本協定の協定当事者に運営事業者を加えた四者で締結)
- (2) 平成29年11月以降 リリオプロジェクト範囲の改修工事
- (3) 平成30年4月 新規開設

7 予算措置

(1) 平成 29 年度第一次補正予算 (案) 計上分

事業名	予算説明	金額 (千円)
絵本劇場	リリオ亀有リノベーションプロジェクト 事業費負担金 (絵本劇場整備に対する負担金)	89,153
亀有地区センター会議室	会議室整備費・設計費負担金、共管費	31,731
	フロア使用料、備品購入費	8,451
図書サービスカウンター	図書サービスカウンター整備費・設計費負担金、共管費、初度調弁費	24,634
	フロア使用料、備品購入費、 図書館システム導入・保守・機器借上げ・ 通信費	5,070

(2) 平成 30 年度当初予算計上分 (予定)

事業名	予算説明	金額 (千円)
絵本劇場	事業者との協定に基づき負担する内容 (絵本劇場運営に対する負担金)	協定に基づ く負担額
亀有地区センター会議室	フロア使用料、共管費	11,340
図書サービスカウンター	フロア使用料、共管費	
	図書館システム保守・機器借上げ・通信費	9,682
	図書サービスカウンター運営委託費	12,960

